



デイゴの花が玄関先を明るく彩る

①年2回赤い花をつけるデイゴがシンボルツリー。2階のバルコニーではブルメリアなどの木々が育てられている

玄関を開けると、正面に水槽で優雅に泳ぐ金色のアロワナの姿が見える。Tさんがこのアロワナを育て始めたのは7年前のこと。何の変哲もない魚が、成長するにつれ美しい模様を現し、約50cmもの大きさになっていくさまを、マンション住まいのころから家族みんなで見守ってきた。それだけに家を建てるにあたって、水槽の設置場所は大切なテーマに。しかも水槽は水を入れると700kg口を優に超える重さ。特別な床補強を施したうえで、1つは玄関ホールに配置した。さらに家族がいつもその姿を楽しめるように、2階のリビングにも水槽を設置。「悠然と泳ぐアロワナたちの姿を見ると、仕事の疲れを忘れて心が和みます」とTさんは語る。

「心が癒される美しいアロワナたち。いつも見える所に水槽を設置しました」

東京都 Tさんの家

写真/垂見孔士



DATA

敷地面積/146.96㎡ (44.45坪)
 延床面積/177.23㎡ (53.61坪)
 竣工/2000年5月
 構造/木造軸組・3階建て
 家族構成/夫36歳+妻36歳+長女9歳+長男7歳
 設計・施工/住友林業
 ☎0120-21-7555

美しい赤の紋様をきらめかせる姿に魅せられて

④アロワナは熱帯魚の王ともいわれ、専門書も出されている。なかでもTさんの育てているアジア・アロワナはワシントン条約で保護され、ごく一部で養殖が認められている希少種。⑤ダイニングと吹抜りのリビングをつなぐ日当たりのいいホールは、アロワナにとっても好環境だ。⑥「毎日見ていると、泳ぐさまでその日の体調もわかる」そう。子供たちが見ていると嬉しそうにすり寄ってくる

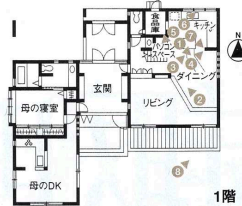
10畳の主寝室は簡単にシアタールームに早変わり

⑨ベッドに寝転んで見られる壁面に100インチのスクリーンとプラズマテレビを。ご主人も大のお気に入り。お子さんたちも好きなビデオを借りて楽しんでいるそう。⑩プロジェクターはベッド上部の天井に棚をつくり設置。⑪見ない時はスクリーンを天井内に収納



土壁の素朴な風合いが印象的な、ひと際目をひく洒落た外観

⑧モダンなサンタフェをイメージしたデザインは、いかにも人を魅きつける雰囲気。二世帯で、向かって左側の1階部分がご主人のお母様の居住スペース

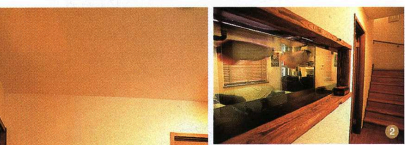


DATA

敷地面積/274.67㎡ (83.08坪)
 延床面積/202.05㎡ (61.12坪)
 竣工/2003年6月
 構造/木造軸組・2階建て
 工事費概算/4250万円
 家族構成/夫42歳+妻39歳+長女9歳+次女5歳+母72歳
 設計/ネイチャーデコール
 大浦比呂志創作デザイン研究所
 ☎045-904-5417
<http://www.nature-decor.com>
 施工/相隣建設

結婚して16年、専業主婦の長谷川さんの最大の趣味はお料理。「外でおいしい物を食べると再現してみたくなる」探求心と食通のご主人の影響でレパートリーが増え、友人から頼まれて教えるほどの腕前に。新しい家は、お料理教室を開くことを前提に計画した。

オープンなダイニング・キッチンには約16畳の広さ。キッチンセットは北側の壁面にまとめ、中央にアイランドカウンターと3m余りのダイニングテーブルを配置。ここを中心にして、レンジの読み合わせから下ごしらえ、調理、片づけなど教室の一連の作業がスムーズに進められ、長谷川さんの目も生徒さん1人1人に行き渡る。使いやすさはもちろん、アジアのリゾート風のインテリアが心地よく、和やかな雰囲気の中に会話を弾ませ、くつろぎやすさの点では、大型スクリーンなどのAV機器を装備した主寝室も見どころだ。就寝前に手軽に、「ご夫妻で映画を鑑賞しているぞう。」家としての方一つで、趣味の楽しみの度合いがまったく異なりますね」



優雅な姿でお客を迎える金色のアロワナ

②奥の部屋は給排水設備を完備したご主人のプライベートルーム。玄関ホールとの間の壁に厚みを感じ、奥の部屋からもソファに座って泳ぐ姿をながめられるようにした③幅150cm×奥行80cmの水槽を玄関ホールに設置。縁取りには古材を使って、落ち着いた印象にした

